



「お節会」は連日、午前10時に開場。来場者は素朴なすまし雑煮に舌鼓を打ち、親里ならではの「新春の団欒」を味わった

新春の親里「伝統行事」に4万5689人

天理教会本部「お節会」

「新春の風物詩」である天理教会本部（奈良県天理市）の「お節会」が、1月5日から7日まで開かれた。教祖が現身をもってお働きくださっていた時代から続くこの伝統行事は、正月三が日、本部神殿にお供えされた鏡餅を、1月4日の「鏡開き」でほどよい大きさに切り分け、

すまし汁仕立ての雑煮にして振る舞うもの。3日間で4万5689人が来場。神苑一带に長蛇の列ができるなど、親里は連日大いににぎわった。なお期間中は、全国から集まった信者や親里で学ぶ学生ら約5000人が真心を込めて、会場準備や接待、誘導などの世話取りに当たった。



No.515

2025. 1 発行 / 天理教道友社